

平成12年(2000年)11月1日発行

第四回 技術教育国際フォーラム

「ものづくり」の原点を探る

十月十三日、東京ビッグ

サイト国際会議場で、工業

教育研究所内に設置の「技

術教育国際フォーラム協

会(代表 大川陽康理事長

が主催する、第四回シン

ポジウムが、七八〇名の参

加を得て、開催された。

テーマは、「感性とものづ

くり」で、過去三回にわた

って繰り広げられてきた感

性シ

リーズの総集編ともいうべ

きもの。

会は大川理事長の挨拶に

次いで、フォーラムのメン

バーの一人で、参議院議員

の有馬朗人先生(元文部大

臣・科学技術庁長官)が国

会開催のためVTR出演。

「国が打ち出した『ゆとり

教育に誤解があるようだが、

子どもたちの生きる力や創

造性を育む感性は、ゆとり

教育の中からこそ生まれる」

と力説された。

基調講演の第一は、河合

隼雄先生(国際日本文化研

究センター所長)の「感性

と児童期におけるものづく

り」。

要旨は、いま喧伝され

るIT(情報技術)の重要

性を認めながらも、「大切な

味覚・嗅覚・触覚を殺す恐

れがある」と、「創意工夫に

繋がる感性を育成するには

マニュアル化された物を与

えない方がいい」と注意を

促された。

講演の第二は、西澤潤一

先生(岩手県立大学長・前

東北大学総長)の「感性と

青年期におけるものづく

り」。

半導体レーザーや光

ファイバーの基礎研究で多

大なる功績を挙げられた先

生は、「物づくりには感情表

現と理性表現が入り交じっ

ており、その双方とも大切

と力説。

第二部のシンポジウムで

は、河合・西澤の両先生に

伊部京子(和紙造形作家・

柳シオン代表取締役)及び

守友真雄(セイコーインス

ツルメンツ(株)顧問)の両氏

が加わり、多角的な検討が

なされた。

印象深かった点を、かい

つまんで記すと、伊部氏が

「従来、教材面で全く顧みら

れなかった和紙という素材

との出会いで己の感性が目

まされた。

印象深かった点を、かい

つまんで記すと、伊部氏が

「従来、教材面で全く顧みら

れなかった和紙という素材

との出会いで己の感性が目

まされた。

印象深かった点を、かい

つまんで記すと、伊部氏が

「従来、教材面で全く顧みら

れなかった和紙という素材

との出会いで己の感性が目

覚めた」という飽くまき探

求心。また守友氏の「ポジ

ティブに執念を持つて事に

取り組む過程の中で、はじ

めて感性が鋭く働き出すの

であり、その意味で志(こ

ころざし)の大切さ」をこ

自身の豊かなエンジニア体

験に即し、若者達に訴求さ

れたことだった。

あらゆる学習機会を生か

した固有の感性錬磨への取

組みを、学生諸君に望み

たい。

星野教授(システム工学科)

画期的な画像処理技術を開発

——産学協同研究の成果——



星野坦之教授

産学交流の成果が望ま

れるなか、システム工学科

の星野坦之教授が、テク

ノ

の

の

の

の

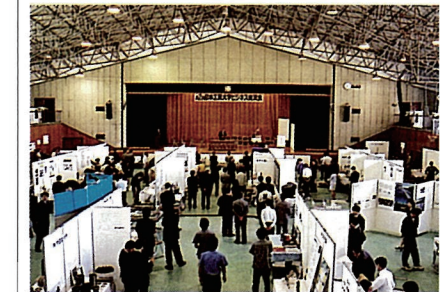
の

の

の

の

の



九月二十七日(水)〜二

一 出展研究室数二十四と昨

年の参加を得て製品・技術

の展示商談会を行うもので

大学が主催してキャンパス

内で行うものとしては全国

でも他に例を見ない。

一般の展示商談会と異な

る特徴点は、技術協力を行

っている企業と研究室の展

示ブースを並置して、その

第二回 日本工業大学ビジネス交流会を開催
本格的な展示商談会に成長

産学リエゾンセンター長 増田 伸爾教授

取り出すため、銀行やコン

ビニなどに設置された監視

カメラとの組み合わせ。さ

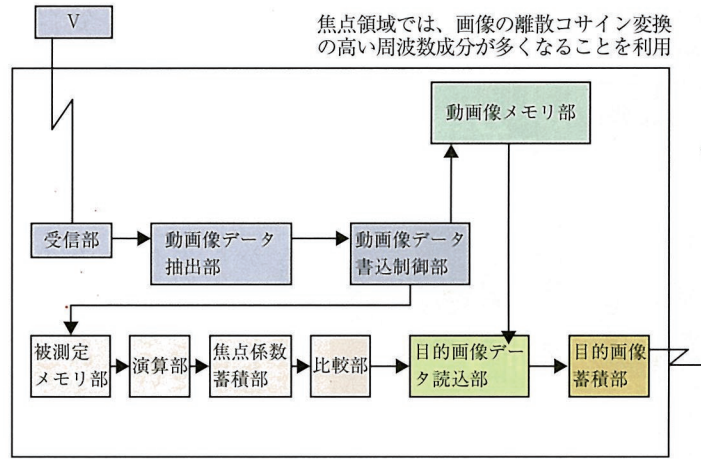
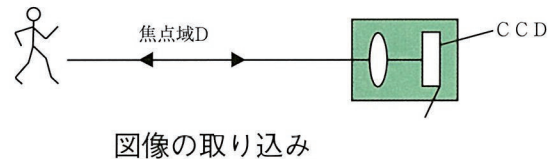
らに駅の改札口での定期券

の不正防止。はたまた高速

道路の料金所で車のナンバ

ーを読みとり、必要なナン

◎原理図および処理のブロック図



処理のブロック図

処理装置を試作中だが、結

果をみて、早々に商品化を

図る意向という。

ビジネス交流会を積極的

に推進しているように、各

研究室は、今後、企業と密

接な連携を行い、成果を手

中にしてほしいものだ。

● I E E E 1 3 9 4 とは？

I E E E (米国電気電子

学)が規格を制定した通

信プロトコル。この技術は

一九八六年アップルコンピ

ュータが開発したFire

Wireをベースとして規

格化したもので、一〇〇、

四〇〇M b s のデータ転送

が可能。高速、リアル

タイムラグ(装置を立ち

上げた状態で、プラグの抜

き差しが可能)のため、パ

ソコンをはじめとして家庭

内情報ネットワーク用イン

ターフェイスとして、成長

が期待されている。

○分ずつ十二研究室と一〇

企業が発表した。

内容は期待以上に高度な

内容であり、単なるP R と

いうよりは、参加者の技術

の理解を深めるために大変

役立つ内容であった。各発

表の概要は産学リエゾンセ

ンターで後にまとめて出版

する予定である。

来年の開催に向けて、出

来ればさらに多くの来場者

を確保すべくP R の方法を

工夫し、充実を図りたいと

考えている。特に、本学の

卒業生は各企業の技術の中

核的な存在として活躍して

おられるが、このような立

場の方々こそ是非とも御

参加頂きビジネス機会とし

て活用頂くことを期待して

の開催である。次回以降は

なお一層多くの卒業生の参

加を得たいものと考えてい

る。

*関連記事P 6 に掲載

日本工業大学 工学部



●機械工学科 ●電気電子工学科 ●建築学科 ●システム工学科 ●情報工学科
◆平成13年度一般入学試験日程・試験科目

出願期間	試験日	問題内容	試験科目・出題範囲	合格発表
1月10日 2月7日 (郵送のみ) 当日必着	A方式 2月12日 2月13日 2月14日 B方式 2月12日 2月13日 2月14日	全学 科 (試験日自由選択制) 機械工学科 情報工学科 電気電子工学科 建築工学科 システム工学科	普通科生 向け 問題 工業科生 向け 問題 数学: 数学I、数学II、数学A(「数と式」のみ) 理科: 物理I B(「電気と原子」を除く) 英語: 英語I、英語II、リーディング ※上記のうちから任意の2科目選択。 数学: 数学I 専門: 志望学科の専門関連科目から出題 ※「専門」の試験は口頭試問・面接	2月19日

◆A O方式による入学者選抜

出願期間	試験日	選考方法	合格発表
11月20日 12月7日	12月9日 12月10日 全学科とも ※いずれかを大学が指定	・課題への取り組み ・課題の内容は学科により異なる ・面接	12月16日

キミもA O入試に
挑戦してみないか!
第二期募集出願迫る

平成11年度決算・平成12年度予算

今後10年間の長期計画を見据えた財政運営

特長ある教育研究を推進する重点予算

第三三期決算・第三四期予算が公認会計士および法人

日本の大学改革

本年六月に大学審議会より『グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について』が発表されました。

二十一世紀の日本は、社会、経済、文化の地球規模での交流が進み、国際的協調、共生、競争の関係が増大する時代に入るものと考えられます。わが国の高等教育機関が世界に開かれた機関として期待に応えるために様々な改革の提案がされていきます。

この提案を受けて、各大学は、画一的に改革を行うものではなく、それぞれが、自学の理念に添った特長あ

る大学改革に取り組む事が期待されています。

本学の教育改革

開学以来、実践能力を備えた高級科学技術者の育成を目指し、三十年余努力を続けてきましたが、改めて初心に返り、教育の総点検を始めています。既にカリキュラムの改訂等、その緒

に就いたものもありますが、さらに改善を進める事も視野に入れ、特長ある高級科学技術者を社会に送り出していかなければならないと考えています。

一方、教育を支える財政の確立が重要な課題です。今後十年の長期計画を検討して、今、着手しなければならぬ事柄を顕在化させて解決する事としています。

政事情および景気の動向から期待し難く、学生数の確保による学生生徒納付金に依存する以外にありません。

平成十一年度決算について

微増の収入の中で、人件費・物件費の増加は避け難く、厳しい運営が求められました。が、根幹である教経費を確保し前向きな活動が実現できたものと考えます。

施設については、建築物の安全性を確保するために、本館の耐震工事を優先させて実施すると共に屋上には、太陽光による発電設備（最大発電量三〇〇KW）がN

DOとの共同研究設備として設置され、学生諸君にはクリーンエネルギーの必要性を再認識させる切っ掛け

平成十二年度予算について

学費は据え置き等による年度内収支の均衡はギリギリの所にきています。

備については、例年並の必要額を確保できましたが、施設計画については、スーパードアウンを余儀なくされた。必要最小限に止められました。

なお、教育研究経費については、特長ある教育を實現するために重点的な予算配分をしました。

財務諸表について

平成十一年度の資金収支計算書(すべての収入および支出の内容と支払資金の収入および支出のてん末を明らかにしたもので、決算

さい。

（財務部）

平成11年度資金収支計算書

平成11年4月1日から
平成12年3月31日まで
(単位:円)

収 入 の 部	金 額	支 出 の 部	金 額
学生納付金収入		人件費支出	2,896,432,541
授業料収入	4,609,312,000		
入学金収入	299,800,000	教育研究経費支出	1,678,369,133
実験研究費収入	517,981,500		
施設設備拡充費収入	1,177,722,000	管理経費支出	291,569,157
教材費収入	600,000		
		借入金等利息支出	213,987,975
手数料収入	88,292,130	借入金等返済支出	402,260,000
寄付金収入	114,466,372		
補助金収入	1,288,637,402	施設関係支出	1,580,503,005
資産運用収入	26,738,099	設備関係支出	738,987,640
事業収入	71,179,015	その他の支出	1,402,705,829
雑収入	21,875,089	前期末未払金	74,599,712
借入金収入	600,000,000	退職給付引当特定資産繰入	28,831,155
前受金収入	2,734,384,150	施設引当特定資産繰入	589,784,174
その他の収入	1,061,782,365	設備引当特定資産繰入	175,355,507
		育英基金特定資産繰入	5,899,635
資金収入調整勘定		第3号基本金引当資産繰入	35,000,000
前期末前受金控除	△2,591,702,000	その他	493,235,646
期末未収入金控除	△576,586,106		
		資金支出調整勘定	△63,656,173
前年度繰越支払資金	3,970,420,453	次期繰越資金	4,273,743,362
収 入 の 部 合 計	13,414,902,469	支出の部合計	13,414,902,469

収 入 の 部		金 額	支 出 の 部		金 額
学生納付金収入		6,551,357,000	人件費支出		3,126,571,272
授業料収入	4,579,078,000		教育研究経費支出		1,614,852,251
入学金収入	282,876,000		管理経費支出		304,539,020
実験研究費収入	517,004,000		借入金等利息支出		202,759,000
施設設備拡充費収入	1,172,399,000		借入金等返済支出		600,260,000
教材費収入			施設関係支出		301,707,435
			設備関係支出		544,385,298
手数料収入		76,000,000	その他の支出		1,574,880,411
寄付金収入		39,000,000	前期末未払金	63,167,460	
補助金収入		569,694,000	退職給与引当特定資産繰入	21,700,000	
資産運用収入		27,300,000	施設引当特定資産繰入	816,871,668	
事業収入		32,332,000	有資金特定資産繰入	195,196,000	
雑収入		91,200,000	設備引当特定資産繰入	4,000,000	
前受金収入		2,576,612,000	第3号基本金引当資産繰入	35,000,000	
その他の収入		802,679,099	その他	438,945,283	
資金収入調整勘定 前期末前受金控除	△2,734,384,150	△2,734,384,150	予備費		72,000,000
			資金支出調整勘定		△3,533,107
					3,967,111,731
前年度繰越支払資金		4,273,743,362	次期繰越資金		
収 入 の 部 合 計		12,305,533,311	支出の部合計		12,305,533,311

資 産 の 部		金 額	負債・基本金及び消費収支差額の部	金 額
資産の部			負債の部	
有形固定資産		24,720,911,489	固定負債	6,184,066,935
土 地	1,950,451,555		長期借入金	4,748,300,000
建 物	15,108,284,427		退職給与引当金	1,435,766,935
構築物	1,513,905,839			
教育研究用機器備品	4,840,476,434		流動負債	3,514,790,863
その他の機器備品	79,083,871		短期借入金	600,260,000
図 書	1,200,241,348		未払金	63,167,460
車 輛	3,100,225		前受金	2,734,384,150
建設仮勘定	25,367,790		預り金	116,979,253
その他の固定資産		3,976,824,169	基本金の部	32,288,659,732
電話加入権	2,770,146		第 1 号基本金	31,298,552,272
施設利用権	25,277,202		第 3 号基本金	562,168,796
有価証券	450,451		第 4 号基本金	427,938,664
差入保証金	457,700			
退職給与引当特定資産	706,230,215			
施設引当特定資産	2,173,604,354		消費収支差額の部	△8,230,106,304
設備引当特定資産	463,840,069			
育英基金特定資産	42,025,236			
第 3 号基本金引当資産	562,168,796			
流動資産		5,059,675,568		
現金金	4,273,743,362			
未収入金	576,586,106			
前払金	3,533,107			
仮払金	31,512,983			
立替金	174,300,000			
資 産 の 部 合 計		33,757,411,226	負債・基本金及び消費収支差額の部合計	33,757,411,226



UIC (イリノイ州立大学シカゴ校) 滞在記

研 究 生 活 の 間 に 間 で

情報工学科助教授 丹羽 次郎

脱却し、今年は過去最大の
すが

多額の借金をかか
えながらアメリカ
経済が元気な理由

IT、特にインターネットの発展により、productivity（生産性）が相当あがっている。

きています。それは製造業にもおよんで製造業の生産性があがり、（これは人手がいらないものではなく、雇用を促進して、さらに生産をあげているとのこと）

す。新聞やジャーナルでも人手不足が盛んに言われています。実例として村田教授の娘さんが勤めている

脱却し、今年は過去最大の黒字で雇用も追いつかない状況にあるようです。ピザ配達人、神学教授、刑務所の看守などを訓練して新聞記者にする転職プログラムトラック業界ではエルトルコに養成所を作って運転手を供給するというようなニュースも見られます。I-T関連はもちろんです。その勢いに引きずられ多くの業種が好調のようです。更に、ある経済研究家は米国の債権、債務外の「対外投資収益収支＋技術ロイヤルティ収支」は当分の間プラスであり、貿易赤字が

すか）
八〇年代アメリカの大学の志願者減少問題について
UICでは学生減が問題になったことはないようです。逆にECCS（電気・コンピュータ）では工学部全体の六〇％もの学生が在籍しており、減らす方向にあるそうです。一クラスが百名以上になり、教員の負担が過重になりホームワークや問題の採点が難しい状況にあるそうです。
またUICではインター

あるそうです。どここの大学を出たというより、本人の實力が評価されているのでしょうか？

その他、シカゴ近郊にあるいくつかの大学の広告が時々たまアバートの郵便受けに入ります。大学入学とコース受講の区別がつきません。トランスファー（大学を移る）という語も良く使われ、いくつかの大学で決まった単位数を獲得すると、大学卒となるようです。各大学ともさまざまな方法で、学生を募集しております。

日本では社会人入学という語がありますが、こちら

内容、試験問題およびその解答に対する評価、などをチェックするそうです。このチェックに通れば、一応基準を満たしているということでしょうか。（日本と同じ方法でしょうか？）基準に対してはかなりの信頼度があるようにも思えます。ですから、先に述べたように、他の大学に自分の大学のカリキュラムをやってもらうということもできるのだでしょう。

話はかわりますが、先日、英語の統一試験らしきものを受験しましたが手続きがかなり厳しいのにびっくり

識はしていないようです。私の知り合いのベルー人も日本で三年ほど働き、UICに入学し今年マスターに行くのですが、スポンサーの会社を探しています。

UICでも正式な学部ではありませんが、英語教育のコースを設けて世界中から二百人程度の学生を集めております。これは春学期、夏学期、秋学期と三回行いますが、続けて受講する人もいれば、次の学期は異なった大学で受講する人もいます。さまざまな方法で学生を集めているのは事実です。

Accreditation (工学教育課程の国際標準)
UIC

UICでは認定試験はやっておらず、カリキュラムのチェックだそうで

音類、写真 I D チェック、座席にはカバンは置けない、提供された筆記用具使用、問題用紙にメモを書いてはいけない、もちろん全部回収、答案回収時に I D チェック、と注意事項等もマニュアル通り（手抜き無し）に行われました。昔、多人の国だからマニュアルをはっきり決めその通り行わないと收拾がつかないと聞いたことがあります、実際にしました。たぶん、この調子で基準などをきめると、いい加減ではなく、レベルもかなり正確にそろうのではないかと思いました。余談ですが、東海村や雪印のこと、更に大学での I S O 認定の事等と考えると、研究室の電力計算などもかなり正確にしなければいけないのか。

第 14 回
建築コンペ

難題に300余名が果敢な挑戦!!

課題：高齢者と若者のグループホーム

日本工業大学建築設計競技入選者

一等	金子 賢司	日本工業大学付属東京工業高等学校
二等	門井 祥平	兵庫県立兵庫工業高等学校
三等	田中 一朗	三重県立四日市工業高等学校
佳作	杉本 幸子	大阪府立工芸高等学校
佳作	阿部 隆道	兵庫県立尼崎工業高等学校
佳作	工藤 直子	兵庫県立弘前工業高等学校
佳作	窪田 香	兵庫県立尼崎工業高等学校
佳作	櫻田 志穂	青森県立青森工業高等学校
佳作	澤谷 翔	青森県立青森工業高等学校
佳作	原川 実奈	静岡県立静岡工業高等学校
佳作	松田 厚	兵庫県立尼崎工業高等学校
佳作	松浦 宏昭	青森県立青森工業高等学校
佳作	松野 裕生	静岡県立静岡工業高等学校
佳作	三澤 亜衣佳	青森県立青森工業高等学校
選外佳作	大月 香代	長野県池田工業高等学校
選外佳作	岡田 美雪	大阪府立工芸高等学校
選外佳作	春日 智貴	北海道美唄工業高等学校
選外佳作	小山 信二	群馬県立藤岡工業高等学校
選外佳作	對馬 純世	青森県立弘前工業高等学校
選外佳作	田北 裕一	大分県立日出陽谷高等学校
選外佳作	有吉 昌広	神奈川県立神奈川工業高等学校
選外佳作	佐藤 三智治	京都市立伏見工業高等学校
選外佳作	竹本 博昭	埼玉県立春日部工業高等学校
選外佳作	谷本 武彦	青森県立弘前工業高等学校
選外佳作	平井 健太郎	群馬県立藤岡工業高等学校
選外佳作	福士 淳	青森県立弘前工業高等学校
選外佳作	松原 正憲	群馬県立館林商工高等学校
選外佳作	棟方 大輔	青森県立館林商工高等学校
選外佳作	山口 高志	群馬県立館林商工高等学校
奨励賞		青森県立青森工業高等学校
奨励賞		青森県立弘前工業高等学校
奨励賞		福島県立福島工業高等学校
奨励賞		群馬県立館林商工高等学校
奨励賞		埼玉県立春日部工業高等学校
奨励賞		武蔵越生高等学校
奨励賞		安田学園高等学校
奨励賞		日本工業大学付属東京工業高等学校
奨励賞		神奈川県立神奈川工業高等学校
奨励賞		静岡県立静岡工業高等学校
奨励賞		大阪府立工芸高等学校
奨励賞		岡山県立津山工業高等学校

生活を図面にする

教授 波多野 純



「一等『未来日記』(金子賢司・門井祥平)は老人と若者が農を通じて大地の恵みに生きることを目指す。水場のある中庭を中心とする老人棟、若者のダイニングキッチンも中庭に向かい、

て開いている。みんなが健康になれる。二等『アジアンハウス』(館野拓・田中一朗)は、大震災にあった神戸長田に昔の活気が甦る。U字型に食材屋が並び、中心の居間はアジア食堂。若者の部屋は、まるでタコ部屋。でもそれがアジア的。三等『私の町の境内に建つグループホーム』(小田達郎)は、掃除をしてアイスクリ



「二元宇宙飛行士の家」(工藤直子)や「富士と陶芸を樂しむ茶畑ハウス」(三澤重衣)は、半屋外半屋内の空間が楽しそう。

審査は、情熱を込めて作品を描いてくれた諸君との対話の時間、本当に楽しかった。

熱き高校生の活力を感じる

教授 市橋 重勝

両者の共生を図っている。高齢者の部屋は南面を有効に使用し、野菜洗い場の建物の形から直射日光を避ける配慮を感じる。若者の部屋は星空を見上げて良い夢を見るのが楽しい。形状が円形にも拘らず鉄筋コンクリートの特性を活かし、無理のない構造である。製図技術・レイアウトも申し分ない作品である。二等のアジアンハウスはグループホームの考えをより発展させ、市場としてのグループ生活へと拡大した考え方は素晴らしい。異文化を同居

させる考え方は二十一世紀を見据えているようだ。図面も美しい。表現方法は高校生の域を越える。構造も無理がない。模型も素晴らしい。三等の私の境内に建つグループホームはとてもバランスの良い計画である。高齢者と若者が、共同作業を自然にできるような雰囲気があるし、境内に活気がある生活が蘇る感じがする。十一点の佳作の中にもう少し表現に工夫をしたら素晴らしい作品もあった。選外佳作十三点も選出した。

素晴らしい提案が多く
今後は楽しみ……



富田 玲子
(建築家)

1963年／東京大学工学部建築学科修士課程修了(丹下健三研究室)。1963年～71年／三研究室(吉阪隆正主宰)U研究室(1971年から象設計集団を共同主宰

十三回にも及ぶこれまでの設計競技の内容を見せていただきますと、すまいについていろいろな視点からの課題が出され、それに比べても意欲的で魅力的な提案がされています。それらは、血縁関係に基づいた家族という共同体が住まう場と想定されていたが、一人一人が自立したお年寄、一人一人の若者、身残りの父と残された母子など、からはずれた場ではばばらに生きている人々が増えている現代の日本社会を直視しますと、血縁関係ではない何かを共有するさまざまな人々が集まって暮らす可能性を探れないだろうかと思うのです。

近年老人ホームは、大きな施設ではなく、家の様に小さなグループホームを作ろうという傾向にはありますが、老人だけが集まって住むというの

一位の金子・門井案は、人物像と自分の位置づけが明快で、グループのライフスタイルのイメージが空間構成に明快に反映されています。風と光が快適な半屋外の空間をたくみに取り入れることによって、個人の場の独立性と、個と個の人間関係が柔軟になる可能性が生まれている様に思えます。敷地の環境の特性を十分に生かしている様にも思えます。二位の館野・田中案は、人と物と建築のものがすこいスケッチに圧倒さ

「素晴らしい提案が多く、今後は楽しみ……」

「素晴らしい提案が多く、今後は楽しみ……」

「素晴らしい提案が多く、今後は楽しみ……」

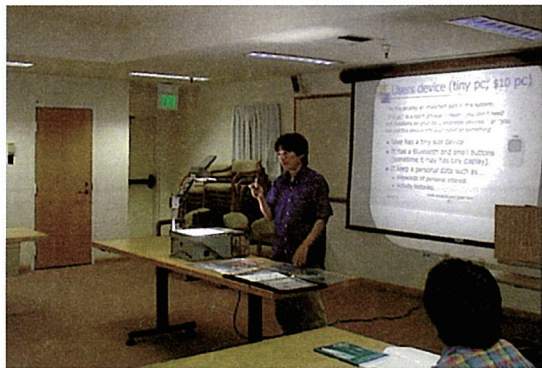
CANADA

スタンフォード大学で特別講義も

市川 泰弘（共通系助教授）

本学が行うカナダ英語研修も単位認定を始めて7年目を迎え、今年の研修は8月19日から9月14日の27日間の日程で行われました。これまで、この研修の単位はお金で買われているという心ない批判がありました。これは英語研修は行くだけだと思っていることから来ています。しかし、英語研究室では一ヶ月にわたる事前セミナー、帰国後のレポート提出など、さまざまな課題を参加学生に与え、学生は事前セミナーを1度たりとも休むことなく、学習しています。今年度の学生もブリティッシュ・コロンビア大学のスタッフから賞賛されましたが、非常に真面目に一生懸命学習していました。

さらに、今年は新たな試みを行いました。以前から、アメリカ旅行の際、企業訪問あるいは研究所訪問を行って、最先端の研究を学生に自分の目で見てもらいたいと考えていました。しかし、最先端の研究は企業秘密と直結するため実現しませんでした。今回、スタンフォード大学の言語情報研究センターのご好意により、通産省の電総研からvisiting scholarとして研究に来ているYoshinov Yamamotoさんに産学協同の研究の一端を講義してもらうことができました。この研究センターは日本の企業がほとんどの研究助成を行っていて、その研究費によって研究を進めています。学生（特に情報工学科の学生）にとっては非常に有意義な講演であり、非常に刺激のあるものでした。ましてや全米で6位にランクされるスタンフォード大学の講義室で講義を受けるという機会はめったにないことです。学生からの質問によって予定の1時間半が2時間半を超え、その後の観光ができずホテルへ直行となりましたが、この新たな試みはこれからも続けていきたいと考えます。その理由はまさしく学生の質問の時の「眼差し」です。



特別講義中のDr.Yamamoto（撮影：市川）



美しいバンクーバー港の大橋



熱心にレッスンに励む研修生たち



ゆたかなキャンパス内での研修風景（UBCの図書館前で）

実り多かつた異文化体験

夏期休暇の海外研修レビュー

今年も夏期休暇を利用しての「カナダ英会話研修」（引率者・市川泰弘助教授）ならびに、厚みのある異文化体験を主眼とする「ヨーロッパ研修」（引率者・大岸文夫講師）が実施されたが、「参加して良かった」との声が、しきりだ。歳をかさねてから海外体験をすることは、比較的たやすい。けれども、学生時代にそれを行うことの意味は、学習意欲や国際センスを養う上で、その数倍の効力をもつと言っている。今年チャンスを選んだ諸君は、ぜひ来年こそ参加してほしい。

（撮影／◇カナダ研修Ⅱ入山明美◇ヨーロッパ研修Ⅱ初見範子）

EUの主要都市に
伝統文化と新潮流を探る

EUROPE

ベルリンで都市開発を
ウォッチング

大岸 文夫（建築学科講師）

本年のヨーロッパ研修は13名が箱崎に集合して、9月1日最初の訪問都市ロンドンへと出発した。ロンドンを皮切りに、ベルリン、ローマ、パルセロナ、そして最後にパリに、とヨーロッパを時計回りに13日間で巡るコース設定である。ロンドン・ヒースロー空港への途中、テムズ川に沿って飛ぶが、ロンドンに差し掛かると、ちょうど雨上がりに夕日がさして、眼下の街や田園に虹が掛かり、我々を歓迎しているかのようである。夕日が暮れた頃、ハイドパーク北東角のカンバーランドホテルに到着した。翌朝はバッキンガム宮殿前の広場から市内半日見学である。1日の自由行動を挟んで、4日早朝、次の都市へ向かった。到着したベルリン空港では出発が少し遅れた。外は小雨が降り肌寒い陽気である。半日見学の途中コンサートホールでチケットを購入し、夜はリッチなホールでコーラス音楽を楽しんだ。ベルリン2日目、都市・建築ウォッチングをすることにした。ホテルから10分程歩くとベルリン市立中央図書館である。以前は自由に入館できたが、市の財政難からか1マルクの入館料が必要であった。その向かいにミース設計の近代美術館が建つ。幸運にも学生証をみせたら全員が無料で入館できた。企画展ではソニーシティーのコンペ作品を中心とした建築展が開催されていた。その夜は幸運を祝ってビヤホールに席をとり、名物のソーセージやアイスパインを食べ、ビールで何回も乾杯した。残る都市では、やはり都市や建築ウォッチングが中心となったが、合間にショッピングを楽しみ、現地料理に飽きた時は日本料理を探し求めた。

それぞれの都市を巡るに従い、みなのがちがが融和し、お互いを気遣う意識が育み、楽しい研修旅行ができたのではないだろうか。



ロンドン名物バッキンガム宮殿衛兵の行進



↑今なお工事の進むサグラダ・ファミリア教会（パルセロナ）



↑ゴシック建築の傑作、パリのノートルダム寺院前で

ベルリンのポツダム広場に6月オープンした「SONYセンター」の見学



アルテ・リール(談話室)が 後援会の特別事業で リッチな装いに一新する!!



学生食堂の一つとして活用されている「談話室」は、昭和五十二年に学生の厚生施設として建設されたものである。その後、昭和六十三年に後援会の特別事業により、内装・厨房設備等が整えられ、名称も公募により「アルテ・リール」となって、食事の提供が開始された。しかし、老朽化が進んだため、再び今年度の後援会特別事業により、内装、屋根、外壁工事が行われ、イス・テーブルも新たに購入設置され、九月末に完工。十月より全面リニューアルオープン運びとなった。



周知のように、「Clean & Green Campus」は本学のキャッチフレーズだが、十月十日、それを文字通り具現する「ISO14001認証取得プロジェクト」が、正式にスタートをみた。「ISO14001」に関しては、別掲の記事を参照頂きたいが、要は、この環境マネジメント・システムを取得することで、国際標準を満たすキャンパスであることが公に認知され、ひいては学園のイメージアップに大きく寄与することになるのである。

ISO 14001 プロジェクト 本格的にスタート!!

アップに、大きく寄与することになるのである。

当プロジェクトへの挑戦は、本年六月二十九日の学園創立記念日の席上、大川陽康理事長が明らかにされたが、以後、データ収集等の準備が着々と行われ、十月十日、学友会館で挙行された「キックオフ大会」での正式取り組み宣言へと結びついたわけである。

大会では、まず大川理事長が、昨年来からの耐震工事及び太陽光発電システム

設置の過程で芽生えた「省資源・省エネルギー」意識に基づく当プロジェクト挑戦の背景を開示。認証取得を実現するため、「教職員ならびに学生達が丸ごと力を出し、傾注されるよう願っている」と訓辞。

次いで代表環境管理責任者の竹内淳彦教授が壇上に立ち、これまでの認証取得準備委員会の活動状況を説明。今夏、中国で開かれた地理学会での見聞を披露しながら「ISO取得は、もはやグローバル・コモン(国際常識)。それゆえ来年の学園創立記念日には、ぜひ認証取得を実現させたい」と抱負を述べた。

大会のヤマ場は、環境推進委員のひとりとして三番目に壇上に立った菅原和士教授(電気電子工学科)による環境方針の紹介。骨子は、地球の持続的発展への寄与。学内挙げての取り組み。教育・研究を通じた啓蒙努力。諸法規の遵守。さらに省資源省エネに向けた

不断の努力などにわたるものだが、大川理事長が、それに署名して大会を終えた。財団法人・日本適合性認定協会によれば、現在、ISO14001の認証取得事業者及び団体等は、四千九十四件。うち教育関係はたったの五件に過ぎず、その意味で本学が取得する意義は、まことに大きい。

ISO 14001キックオフ大会



目的遂行へ努力を促す大川理事長

★プロジェクト参加の抱負

よりよき学園環境構築のために

上記のように、認証取得プロジェクトが「キック・オフ」をみたが、ひとくちに取得すると言っても、有に四千名を超える学生諸君の協力なくして、ことは成らない。さういふプロジェクトに対する協力者は増えつつあり、以下その中の有志諸君に、参加の抱負を聞いた。

ISO体験を就職に生かしたい

◆高橋 聡(建築学科三年)

このごろ、テレビや新聞などで、しきりに「ISO」ということが言われはじめ、自分なりに興味を覚えていた時に、大学がこの認証取得を目指すことが分かった。それに関心を持って、環境に建築を専攻している関係上、廃材の利用や太陽光発電の利用など、今後ますます「環境」への配慮なしには物事が先に進まないと感じており、運動への参加を通じて、その

◆岡 嘉信(機械工学科四年)

これまで「環境」という言葉を聞いても、さほど関心はなかった。しかし、最近、いろいろな局面でその点が強調されるようになり、また金属加工などで削りカスが大量に出るのを目にするにつけ、それを何とかしなければという意識の芽生えが動機。

が、ISO運動に参加したからといって、別に大上段に振りかぶるのではなく、煙草の吸い殻の捨て方など、身の回りの小さなことを着実にやって行けばいいのでは、と思っている。

◆松永 充功(システム工学科四年)

省エネなどを専門とする伊原征治郎先生のゼミに所属している関係上、従来から環境面には、強い関心を抱いていた。

◆種部 和則(機械工学科四年)

話をきくまで、ISOのことは、まったく知らなかった。けれども、就職が決まった新潟県の柏崎にある会社が、既にISOの認証を取得していると知り、残された学園生活中に、少し

でもそれに関する知識を身につけておけば、大いに役立つであろうと思って、参加した。

そしてまた、できれば自分が得たものを周囲の後輩たちにも伝えることで、多くの学生たちの環境意識が高まるよう力を傾けたい。

学園ライフ環境の向上を目指して:

「ISO14001」とは?

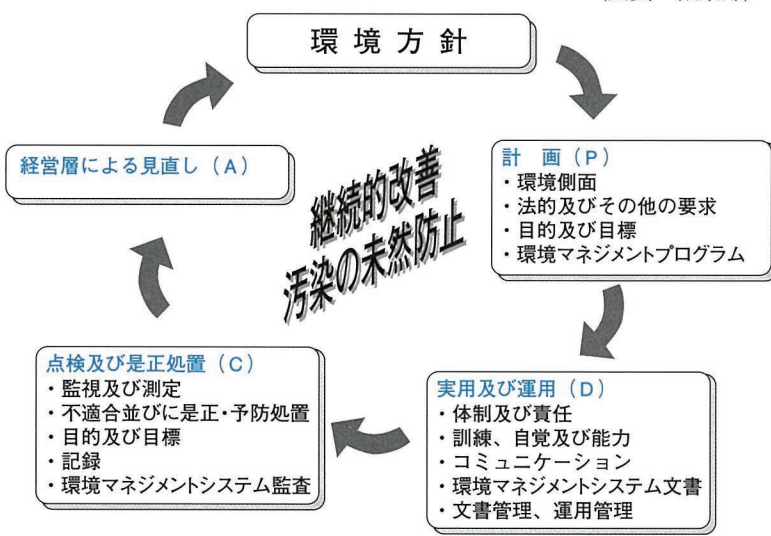
国際標準化機構(ISO)で制定した環境マネジメントに関する一連の国際規格群の中核をなすのが、ISO14001(環境マネジメントシステム)である。

ISO14001には、企業活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を実施する仕組みが継続的に改善されるシステム[環境マネジメントシステム(EMS: Environmental Management System)]を構築するための要求事項が規定されている。(下図を参照)

具体的には、まず組織の最高経営層が環境方針を立て、その実現のために計画(Plan)し、それを実施及び運用(Do)し、その結果を点検及び是正(Check)し、もし不都合があったらそれを見直し(Action)、このシステムを継続的に実施することによって、環境負荷の低減や事故の未然防止が行われるものである。

ちなみにISO14001は、組織が規格に適合した環境マネジメントシステムを構築していることを自己適合宣言するため、または第三者機関の認証(審査登録)取得のために用いられる。そして、ISO14001に基づき環境マネジメントシステムを構築し、認証を取得することによって、組織は、自らが環境配慮へ自主的・積極的に取り組んでいることを有効に示すことが可能となる。

(文責:編集部)



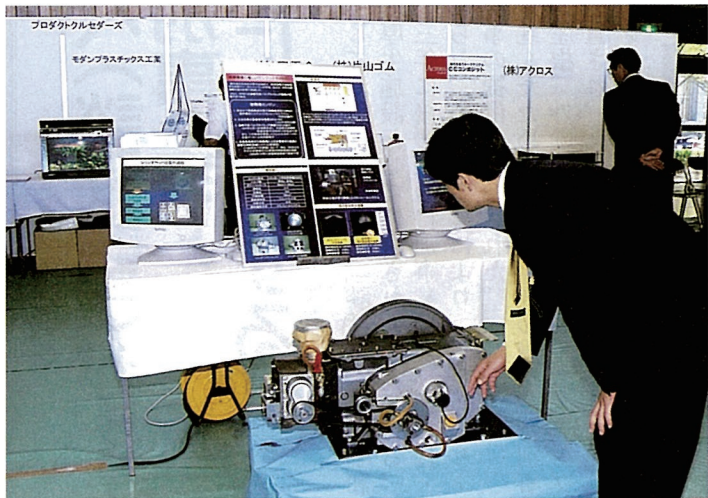
第2回 日本工業大学 ビジネス交流会

新たなシーズと チャンスを求めて

第一頁に紹介したように、今回の交流会は一段と充実した内容となった。企業の皆さんには、本学の充実した研究成果と装置群を有効活用して、飛躍して頂きたい。



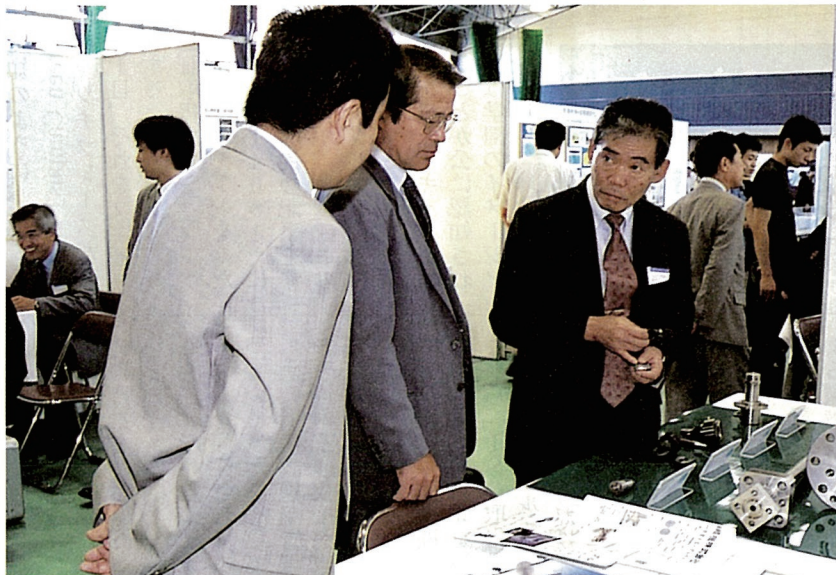
研究室所属の学生たちも交流に一役



小倉研究室試作の高性能エンジン



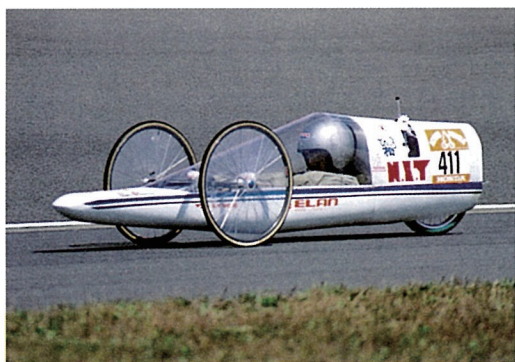
製品を前に熱心な売り込みを展開！



随所に垣間見られた参加企業の真剣な眼差し



体育館内に設置された本格的な展示ブース



力走中のN.I.T号

参加していた本学チームは、本大会で八連覇という偉業を達成した。これは、大学だけでなく、金沢工大、名城大、日大工学部機械研究会に次いで第四位。スタート当初は快調だったが、昨年のボディを使用したため、途中で構造に歪みを生じてしまい、それが原因で、優勝という所期の目的を果たせなかった。

ちなみに、以前、「自動車部」として参加していた本学チームは、本大会で八連覇という偉業を達成した。これは、大学だけでなく、金沢工大、名城大、日大工学部機械研究会に次いで第四位。スタート当初は快調だったが、昨年のボディを使用したため、途中で構造に歪みを生じてしまい、それが原因で、優勝という所期の目的を果たせなかった。

あるカール先生 (Cathal Patrick Kern) とも練習に励んでおり、「いずれ本学も箱根駅伝に参加するまでになりたい」と、部の基礎づくりに励んでいる。シドニー五輪大会の女子マラソンの覇者・高橋選手を育成した小出監督の指導方針は、「自分のために走れ！」だったそうだが、陸上部の諸君も、「人間力」をものするため、ぜひ、そうあってほしい。

◆車両製作部
十月一日、栃木県の「ツインリンクもてぎ」で行われた《第二十回、本田宗一郎杯「ホンダエコノパワー燃

費競技全国大会》で、車両製作部が、大学・短大・高専・専門学校の部で、九位と健闘した。

◆陸上競技部
当部の長距離陣で構成する九名が、八月五日、六日にかけて開催された《第六回ランナイズ二十四時間リレーマラソン 富士北麓公園》(走行距離三三・一五三キロ、一七九周)に参加。一九七チーム中、第十位に入賞した。



カール先生 (左から3人目) と練習中のメンバーたち

部活状況

車輛製作部および 陸上競技の長距離陣が健闘 ——次なるステップに期待つなぐ——

キヤノン株式会社の高橋 通氏に 論文博士号を授与

電気電子工学科教授——石田 之則



高橋 通氏

キヤノン(株) 取締役・キヤノンUSA副社長高橋通氏に、九月二十日秋季学位記授与式で博士(工学)の学位記が授与されました。高橋さんは一九六六年三月早稲田大学理工学部応用物理学科を卒業され、ただちにキヤノンカメラ(株)

(現キヤノン)に入社されました。以来、電子写真技術を用いた複写機の研究開発に従事されてきた方です。現在では、文書等の複写は簡単にできますが、高橋さんが入社された頃は複写は一般的でなく、時間とコストのかかる大変な作業でした。現在の電子写真による複写では、感光体表面に原稿に対応した静電潜像をまず形成します。つぎに、この像にトナーを静電的に吸着させて、そのトナー像を転写するので、短時間で普通紙に複写できます。高橋さんは感光体表面へのトナー像の形成方法について長年研究されて、「トナー飛翔現象法」を發明されました。この現象法の基本原理は静電界に交流電界を重ねさせ、帯電させたトナーを電界の力で感光体表面に飛翔(ジャンプ)させることとです。交流電界を重ねさせると、階調(濃淡)制御

ができることを見いだしました。發明に対して注目發明賞(科学技術庁)をはじめ多くの賞を得ておられます。また、この發明を用いた複写機・プリンタの製品化に成功され、開発された製品は現在広く実用に供されています。今回の学位論文は以上の研究成果を中心にまとめられたものです。本学は電子写真技術の分野に関しては、故郷田名譽教授、現在は星野教授と研究実績があり、このため本学への論文提出がなされたわけです。高橋さんは現在アメリカを中心に活躍されており、今後のさらなる發展をお祈り致します。

3年生必読!!

就職戦線は既に始まっている。 情報収集と対策に精緻を尽くせ!!

学生部就職課

三年生の諸君の中には、また、企業が必要としている
春季試験前に実施した一
回目の就職ガイダンスを受
講し、既に半年先に迫って
いる就職活動に向け始動を
開始した人もいることと思
います。

また、それは対象的に
就職活動に臨む方法が分
らずに、不安な気持ちを抱
ながら、いたずらに時間を
遣り過ごしている人もい
るものと思います。

だからと言って、就職活
動は早くから始めればよい
かと、いうと一概には早
期化が好ましいとは言えな
いようです。

学生諸君が、内容の伴わ
ない活動から始めたこと
としても、内定を得ること
などおぼつかないばかりか
活動が長期化する原因をま
ねくことになりかねません。
次に内容について説明をし
ます。ここで言う内容とは
企業の採用動向等を示して
います。

企業も人間と同様に一つ
の生命体例えれば、その
存続には、常に新鮮な栄養
(人材)を必要としています。
適性が備わっていないば
い。

企業も人間と同様に一つ
の生命体例えれば、その
存続には、常に新鮮な栄養
(人材)を必要としています。
適性が備わっていないば
い。

企業も人間と同様に一つ
の生命体例えれば、その
存続には、常に新鮮な栄養
(人材)を必要としています。
適性が備わっていないば
い。

企業も人間と同様に一つ
の生命体例えれば、その
存続には、常に新鮮な栄養
(人材)を必要としています。
適性が備わっていないば
い。

大学学部卒は53万9千人

就職率は過去最低の55.8%

厳しい学卒労働市場 12年版 学卒労働経済の分析

労働省
平成12年版
学卒労働経済の分析

動指針としてください。
*曖昧な自己分析
以前のように、『新卒』白
紙の人材』として入社すれ
ば、後は会社が道を示して
くれる時代は終わりを遂げ
て、その時々で社会情勢を
反映して変化を遂げてきた
企業の採用動向と、求める
人材が不可欠である、と企
業は判断するようになりま
した。

その結果、企業は採用に
あたって『自分はこの仕事
をやりたい』『この分野で力
をつけた』という意思が
明らかな学生に絞るよう
になってきたのです。

そのような、意思を確認
するための方法として、面
接が採用では重要な要素を
占めるようになり、そこで
問われるのは、職務を遂行
するうえで備えていなか
ればならない、基本的な専門
知識なのです。

本学指定履修書には、得
意科目、得意分野という欄
を設けてあります。
本年度、学生諸君が就職
課へ持参した履修書には、
この欄に教養科目等を記入
していた人が多数いました。
自己分析をしつかり行えば
必ずこれまでに学んできた
専門科目を記入できるはず
です。

それが、諸君たちのセー
ルスポイントとなり、面接
の際に自信を持つてはつき
り主張すれば、採用試験で
は、必ず次の段階に進める
と思います。

次に履歴書の長所の欄を
見て感じたことを、若干記
します。学生諸君は、この
欄に『リーダーシップがあ
る』『行動力がある』などの

文を気軽に羅列してきま
す。就職課で記述した内容
について、説明を求めると
私たちが納得させる回答が
返ってくるのは極めて稀で
す。一様に、『積極的な性格
で、明るく誰とでも直ぐ親
しくなるのでリーダーシ
ップを発揮できる。』また、
『思いっぴり直ぐ動けるの
で行動力がある。』等を、ア
ルバイト経験に基づいて強
調しています。

しかし、学生諸君の主張
する『リーダーシップ』や
『行動力』と、通常企業で用
いられているそれとの間に
は大きな相違が存在してい
ます。企業でいうところの
『リーダーシップ』とは、強
さ、情熱、信頼性、先見性
などによって引つ張ってい
く力のあることをリーダー
シップというのです。

履歴書にこれらのことを
書く際には、自己分析に基
づいて十分に検討を加え、
採用担当者へ納得させる内
容に仕上げてください。
*内容が希薄な企業研究
志望動機を一読して、痛
感することは、会社案内や
企業のHPからの文章の引
用が目につくことです。専
門紙などを通読し、業界の
情報を集めた上で、企業訪
問を行い、そこで、その企
業の強み、将来展望などを
聞き、その中から、自分の力
を發揮する分野をみつけ、
それに自分の得意分野を加
味して志望動機を完成させ
るようになれば、他の人と
違った志望動機になると思
います。

*インターネットの過信
インターネットの急速な
普及に伴って、早々と内定
を獲得する学生』と『なか
なか内定が取れない学生』
との二極分化が顕著になっ
ています。
それは、企業研究や職種
に対する研究、更に自己の

キャリア形成を疎かにして
無闇に企業にエントリーし
たこと、エントリー就
職活動の幻想から抜け出せ
ない。などの要素が重なっ
て起きたことだと思います。
来年度の就職活動におい
ても、多くの学生諸君はイ
ンターネットを利用して企
業登録をすることと思いま
す。その際、肝心なことは
三百字以内で採用担当者へ
納得させる文章を書けるか
否かにかかっています。そ
の内容の得意いかなで、次
の選考に進めるかが決定し
ます。

一度に多くの企業にエン
トリーし、内容の似通った
自己PR等を送信していた
のでは、内定は非常に困難
であることをこの際、明記
しておきます。
ここまでは、本年度の就
職活動の中間報告として感
じたことを書きましたが、
最近の就職活動では、就職
活動に臨む場合の優先順位
が逆になっていることが特
に気になります。

『どんな職業を選択する
か』というよりも、『自
宅から通勤可能な会社』の
方が上位にきているのです。
このような条件に固執し
すぎると、就職の好機を見
過すことになり、その結
果、就職を困難なものにさ
せる原因をまねくのです。
限られた期間内に、多く
の企業と接し、その中から
自らの適性に合った企業を
探し出すということは、決
断と勇気がいることです。

就職活動の勝者になる条
件は、自らに枠を設けず、
柔軟に且つ、失敗を恐れず
に積極果敢に挑戦すること
です。就職活動の前哨戦は
既に始まりました。諸君た
ちがどのような姿勢でこの
難関に取り組むかで、すべ
ては決まります。

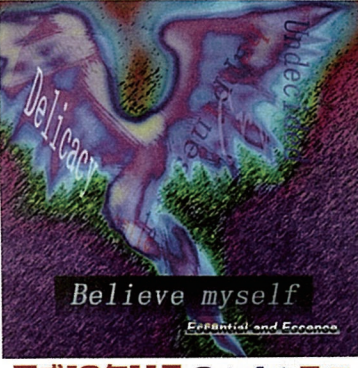
父親の影響で子供のころ
から無線に親しんでいた海
老原君は、中学を卒業する
ときには上級アマチュア無
線の資格を持っていた。そ
のため、母校の千葉工業で
は、電気発明創作部に所属
この高校には、普通の運動
部や文化部のほかに、各学
科に付属するようなクラブ
が一つずつある。電気科の
それが電気発明創作部とい
うわけだ。電気に関係すれ
ば何をやってもかまわない
クラブだが、無線とコンピ
ュータが活動の中心である。

当初は、情報技術科の生
徒である海老原君が電気科
のクラブに所属することに
勧誘してみたり……。あの
手この手で集まった人数は
四十名以上。あつという間
に文化系最大のクラブにな
った。さらに、兼部してい
た情報科系のコンピュータ
技術研究部からは、ロボッ
というのも、廃部寸前だった

21世紀を目前とした大学祭 「自己を信ぜよ!!」を主題に

大学祭実行委員長
高橋 聡 (建築学科3年)

第32回若杉祭



平成12年11月 3(金)4(土)5(日)
日本工業大学大学祭実行委員会

今年も大学祭の季節が近
づいて参りました。二千年
という記念すべきの年に
若杉祭は第三十二回を迎え
ます。我々実行委員会一同
二十世紀に残るような学園
祭にしようという日々準備に
励んでいます。
今年のテーマは『ビリー
ブ・マイセルフ』。これは自
己主張をよしとしないこの
現代社会の中で自分を信じ
自分のやってきたことをお
もいきりこの大学祭で發揮
してもらいたいという思い
を込めて決めたテーマです。
さて、今年の若杉祭も
様々な企画をご用意してい
ます。

三日月は『吹奏楽団コン
サート』、『いすとりゲーム』、
『喰らう ミレニアム』、そ
して『秋のからっ風こんさ
まらな。中国語交じり、こ
うの「お父さん」とも仲
良くなり、日本と交信する
ために無線のアンテナを立
てたときには、一緒に手伝
つてもらえるまでになった。
こうした交流も自動的に
転がりこんで来たわけでは
ない。こちらの意思をはっ
きり伝えたからこそ、向こ
うとの交流が深まったのだ。
ホームステイではよく、自
分では何もせずにホストフ
ァミリーへの不満を言う人
がいる。そういう人を見て
いると、もうちょっと踏み
込んで自己主張してみれば、
お互い理解しあえるのに、
と残念に思う。

周りの目を気にすること
なく自分の意思を貫徹する
海老原君。「頑固で考え方が
古い」とは謙遜を込めた自
らの評だが、「話好きで、カ
ナダでは携帯電話が使えな
いのがキツかった」などと
いうところに、現代つら
しい一面が垣間見える。(塚
◆お願い—これぞと思う
学生諸君を、どしどし編集
部に推薦下さい。



海老原 寛之 君
(情報工学科2年)

無線を武器に海外交流に 挑む“新地球人”学生

無線はもちろん、英
流が深められるため、大学
の研修はヨーロッパではな
い。しかし、そんな境遇
にもめげず活動を続けてい
ると、後には先生も彼を認
めざるを得なくなった。と
彼の活動は国内ではおさ
し。

秋季学位記授与式 および入学式が挙行される

留学生別科にも晴れて39名が入学



秋季学位記授与式



秋季入学式

多様な学生の受け入れの観点、また文部省の秋季入学柔軟化の方針を踏まえ、本学では平成十年度より、学部及び大学院の秋季入学を実施してきた。平成十年度の大学院には、修士課程システム工学専攻の磯部伸也君が入学。学部では鈴木木一寛君(情報工学科。鈴木君は、付属東京工業高等学校の「カナダ長期プログラム」に基づき、カナダの「CC(レスブリッジ・コミュニティ・カレッジ)の準学士を取得し、本学の三年次に編入学したものであった。そして今般、両君とも二年間の課程を終え、九月二十日(水)に挙行された。

第一回目の秋季学位記授与式において学位が授与された。出席者は、そのほか博士後期課程の一名(詳細別掲)の計三名、そして、九月三十日付の八名の学部生であった。学長から一人一人に学位記が授与されたあと、いろいろな手段を使つての情報収集、自己啓発により技術力を鍛えることの大切さ、人間としての信頼感、特に鈴木君については、英語の学習を含むカナダでの努力について心のこもった言葉が送られた。当日は、田川鋭治後援会会長 藤田公雄工友会会長に来賓として参列を頂いた。

また、第三回となる入学式は、同じく秋季入学を始めた留学生別科の学生二十一名を含む学部一名、大学院修士課程一名、博士後期課程一名の二十四名が出席のもと、十月二日(月)に行われた。三名については、学部は、鈴木君と同じ「カナダ長期留学プログラム」により、情報工学科三年に編入。修士課程は、台湾からの留学生、博士後期課程は社会人入学と、多様な経歴を持った学生たちであり、学長からは大いに期待している旨の式辞があった。別科生については、母国での卒業時期の関係で秋季入学が適していること、我が国の留学生受け入れ手続きの変更等により今後益々増加するものと思われる。

大学院生の全敏榮君に 県のインキュベーター助成が決定



埼玉県では、独創的なアイデアを持つ学生や一般起業家を技術面、資金面で支援し、企業化を促進することにより、県内産業の分野の開拓を推進し、育成するために、ブレ・インキュベータ設置事業を行なっている。この補助事業に、柳沢・兼子研究室の大学院生全敏榮君の申請が採用になった。

研究開発の題目は「ディゼル排ガスフィルター用耐熱ステンレス鋼繊維焼結体に関する研究」で、近年、ディーゼル機器の排気ガスによる大気汚染が世界的に深刻な問題となり、ディーゼル排気ガス用フィルターとして、主としてセラミックス、炭化珪素などによるフィルターレシジョンが行われているが、これらのものは高価であると共に、機械的衝撃に弱く、使用中に破壊する等の問題点がある。そこで、これらの問題点を解決するために、金属繊維を用いた低コストの排気ガス

近事片々

私は昭和五十六年に建築学科を卒業した第十一期生です。現在茨城県ひたちなか市にある建築設計事務所勤務として、日夜多忙な業務に追われています。

これから少し、耳慣れない補償業務の内容と、この仕事に就いた経緯からお話します。

大学卒業後、設計の仕事を目指しましたが、建築設計事務所就職できず、やむなく入った測量会社で補償の仕事と出合ったことがきっかけでこの仕事を始めました。

補償コンサルタントの仕事は、国や県、市町村等が行う道路の建設、拡張、公園、学校用地、住宅団地、高速道路等の建設により、公共用地の取得(土地の買収)に伴い、買収する土地に存する建物、工作物、樹木等があれば、移転のために建物等の調査及び移転費用の算定を行います。その他、市町村、組合等

が行う区画整理事業により建物等移転の調査及び移転費用算定、公共事業の施工により発生する振動等による建物等への影響調査及び補償算定があります。以上のことは、用地事務の流れの一部です。

の意志を醸成させ、起業者の「役所」見解額で相手方を説得、納得させる、③公平かつ適性な補償額を自ら算定し、その額で契約する、④利権者の財産、生活及び経営の中にまで立ち入らざるを得ない、ということになります。

そこで私を待っていた仕事は、茨城県庁舎建設に伴う五〇号バイパスからの現道の拡張事業で、茨城県でも大型物件の軒並み移転でした。

さあ大変、こころ一番と汗をかきかき、補償基準と格闘し、役所と打ち合わせをしながら報告書をまとめ挙げました。

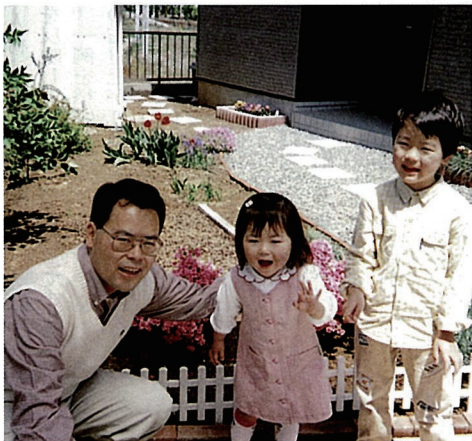
また、ひたちなか市は、市をあげて区画整理事業が進行中です。そこでも、私は移転補償に関わることになり、今日に至っています。

補償業務を端的に表現すれば、道づくり、街づくりと言ふことになります。その中でも、補償業務は縁の下力持的な存在ということになります。

仕事を通して各方面の方々と意見交換を繰り返して、その都度新しい経験を積み重ねていくことになります。

一歩一歩着実に、地味ではあるが、努力が実績に結び付く仕事という事で補償業務の世界に再挑戦することにしました。

OB便り



補償業務管理士として 多忙な日々を過ごす

田野井 芳男
(建築学科第11期生)

(株)松栄設計 補償部勤務

用地事務とは、補償客体の調査、補償額の算定、相手方との交渉、契約の締結、登記、補償金の支払に至る一連の事務及び土地収用事務をいいます。①代替性のない特定の土地の取得、②幅広い知識と経験を必要とし、利権者を説得し、譲渡

の業界から身を引きました。その後不動産の営業を経験しましたが、数字が全てであるこの業界の厳しさを味わうことになり、地味ではあるが、努力が実績に結び付く仕事という事で補償業務の世界に再挑戦することにしました。

そこで私を待っていた仕事は、茨城県庁舎建設に伴う五〇号バイパスからの現道の拡張事業で、茨城県でも大型物件の軒並み移転でした。

さあ大変、こころ一番と汗をかきかき、補償基準と格闘し、役所と打ち合わせをしながら報告書をまとめ挙げました。

また、ひたちなか市は、市をあげて区画整理事業が進行中です。そこでも、私は移転補償に関わることになり、今日に至っています。

補償業務を端的に表現すれば、道づくり、街づくりと言ふことになります。その中でも、補償業務は縁の下力持的な存在ということになります。

仕事を通して各方面の方々と意見交換を繰り返して、その都度新しい経験を積み重ねていくことになります。

一歩一歩着実に、地味ではあるが、努力が実績に結び付く仕事という事で補償業務の世界に再挑戦することにしました。

第一期のOBを迎え 「ホームカミングデー」を開催

ここ数年、本学のキャンパス施設の充実、久しぶり以来学された方々の称賛を得ている。そして、その全容を、じつに三十年前に卒業された第一期生に披露。併せて当時の教職員との旧交を温めようとの「第一期ホームカミングデー」が、この十一月十八日(土)に開催される。

当日は、大川理事長の「創立からの歩みと二十一世紀の大学」、情報工学科・榎沢教授の「二十一世紀の大学」、情報工学科・榎沢教授の「二十一世紀の大学」と題する講演会をはじめ、学内見学ツアーやパーティーなどが催される。

教職員ならびに学生諸君一同、OBたちを温もりのある態度で迎えたい。

国外出張

- ◆寺島幸雄講師(機械工学科)／出張先「カナダ(8/12)／8/16」／目的「6th Triennial Int Symp on Fluid Control Measurement and Visualization」の論文発表
- ◆佐々木哲夫教授(機械工学科)／出張先「フィリピン(8/13)／8/19」／目的「ICA フィリピン金型技術向上プロジェクト短期専門家派遣」
- ◆小川修教授(工業教育研究科)／出張先「台湾(8/13)／8/15」／目的「ICEE2000(Taipei Taiwan Roc)」の発表
- ◆鈴木昭教授(工業技術博物館)／出張先「台湾(8/13)／8/15」／目的「ICEE2000(Taipei Taiwan Roc)」の発表
- ◆梅崎栄作教授(機械工学科)／出張先「韓国(8/16)／8/21」／目的「第4回回体の破壊・強度に関する国際会議での論文発表」
- ◆奥田眞教育技術員(電気実験研究センター)／出張先「タイ(8/16)／9/12」／目的「K MUTとの学術交流協定に基づくK MUTにおける電子工学の講義」
- ◆市川泰弘助教授(共通系)／出張先「カナダ(8/19)／9/14」／目的「平成12年度英会話カナダ特別セミナー」
- ◆波多野純教授(建築学)

(8月～9月)

- ◆森真作教授(電気電子工学科)／出張先「ドイツ(9/16)／9/23」／目的「NOTA2000論文発表」
- ◆横谷真一郎教授(機械工学科)／出張先「中国(9/22)／9/29」／目的「中国北京で開催される Asia Steel International Conference 2000」における論文発表
- ◆入山明美主任(学生課)／出張先「カナダ(8/19)／9/14」／目的「平成12年度英会話カナダ特別セミナー」
- ◆大岸文夫講師(建築学科)／出張先「英国・ドイツ・イタリア・スペイン・フランス(9/3)／9/13」／目的「第28回ヨーロッパ研修引率」
- ◆初見範子主任(就職課)／出張先「英国・ドイツ・イタリア・スペイン・フランス(9/3)／9/13」／目的「第28回ヨーロッパ研修引率」
- ◆波多野純教授(建築学)

▼先日、長野県の小布施に行った時、最盛期のりんごや栗を見て、その感をさらに深めました。時の過ぎる早さと自然の繰り返しに、早さに只々感嘆しつつ、本学で現在認証取得に向け取り組んでいるISO14001を持ち出すまでもなく、地球環境保全の大切さを感じました。

▼十月十三日は本学の教育理念を発信する一つとして、本年度第四回となる技術教育国際フォーラムを東京ビッグサイト国際会議場で開催しました。テーマは「感性とものづくり」。シンポジストとして、河合隼雄先生、西澤潤一先生、伊部京子先生、守友貞雄先生を迎え、「二十一世紀日本のものづくりの原点を探る」をめぐって、多角的な観点・提言が展開。感銘ぶかい示唆を与えました。(F)

編集後記

▼今年の夏は記録的な猛暑で、秋は来ないのではないかと思えるほどでしたが、このころ、めつり秋らしさを感じようになりました。

ボーナー、カidelの両博士が 本学を表敬訪問

さる8月29日・30日の両日、学術協定校イリノイ州立大学のW.M.ボーナー教授ならびにドイツ航空宇宙研究所長のW.カidel氏のお二人が、本学を表敬訪問された。両博士とも、国内で開催された学会終了後の貴重な時間を割いての来学だったが、専門を同じくする電気電子工学科の渡辺康夫教授の介添えで、大川理事長、神馬学長、広瀬教務部長、鈴木務教授を交えて懇談。おもに米独における研究事情や教育事情などに関して意見交換がなされた。

近時、国際交流が堅実な歩みをみせるなか、かような親しみのある交流は、いずれ大きな成果を生むに相違ない。



左から三人目が米のボーナー教授、五人目が独のカidel所長